

## 2019年2月号 簿記論 つぶ問

### 4問目

**問題** 当社が行った次の1～3の一連の取引およびそれら进行处理した仕訳（金額の単位は円）について、空欄(A)～(I)にあてはまる金額を答えなさい。記入すべき金額が無い場合には、「0」とすること。

[取引]

1. 当社はX3年4月1日に額面総額1,000,000円の転換社債型新株予約権付社債（一括法で処理）を以下の条件で発行し、発行価額900,000円が当座預金に振り込まれた。

満期日：X8年3月31日

約定利率：年3%（毎年3月31日に1年分を現金で後払いする）

新株予約権：額面4,000円につき1個を付与し、1個あたり5株を交付

権利行使価格：1株あたり800円（すべて代用払込）

（新株予約権付社債の発行）

(借) 当座預金 ( A )	(貸) 新株予約権付社債 ( )
----------------	------------------

2. X4年3月31日に、約定利息を支払った。また、同日は決算日のため、償却原価法（定額法）を適用する。

（約定利息の支払い）

(借) 社債利息 ( )	(貸) 現金 ( B )
--------------	--------------

（償却原価法の適用）

(借) 社債利息 ( C )	(貸) 新株予約権付社債 ( )
----------------	------------------

3. X5年12月31日に、額面全額について権利行使を受けた。これに伴い発行する株式のうち、750株については新株を発行し、残りについては自己株式（帳簿価額は1株あたり750円）を交付した。資本金への組入額は、会社法で認められる最低額とする。なお、権利行使日までの利息（現金払い）の計算および償却原価法における簿価修正額は、いずれも月割計算による。

（権利行使日までの利払い）

(借) 社債利息 ( )	(貸) 現金 ( D )
--------------	--------------

（償却原価法の適用）

(借) 社債利息 ( E )	(貸) 新株予約権付社債 ( )
----------------	------------------

（新株予約権付社債の権利行使）

(借) 新株予約権付社債 ( )	(貸) 資本金 ( F )
	資本準備金 ( G )
	自己株式 ( H )
	自己株式処分差益 ( I )

**解答**（金額の単位：円）

(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
900,000	30,000	20,000	22,500	15,000
(F)	(G)	(H)	(I)	
286,500	286,500	375,000	7,000	

**解説**（金額の単位：円）

転換社債型新株予約権付社債の会計処理一巡についての計算問題です。最後の権利行使では、新株発行と自己株式の処分が同時に行われているため注意が必要です。

1. 発行時の処理

一括法による場合、発行時には、新株予約権付社債の発行価額 900,000 をまとめて新株予約権付社債勘定で処理します。

2. 利払と償却原価法（定額法）

約定利息の支払額は、額面  $1,000,000 \times 3\% = 30,000$  となります。

償却原価法による年間の簿価修正額は、 $(1,000,000 - 900,000) \div 5 \text{年} = 20,000$  となります。

3. 権利行使時の処理

まず、権利行使日が X5 年 12 月 31 日であるため、期首からの経過月数 9 か月分だけ、利息の支払いと償却原価法による処理を行います。

利息の支払額は、 $30,000 \times 9 \text{か月} \div 12 \text{か月} = 22,500$  となります。

償却原価法による簿価修正額は、 $20,000 \times 9 \text{か月} \div 12 \text{か月} = 15,000$  となります。

この結果、権利行使時点における新株予約権付社債勘定の残高は、以下のように計算できます。2. の決算整理時点から、さらにもう 1 年度経過している点に注意しましょう。

新株予約権付社債勘定の残高： $900,000 + 20,000 + 20,000 + 15,000 = 955,000$

権利行使による株式発行数は、全体で  $1,000,000 \div 4,000 (= 250 \text{個}) \times 5 \text{株} = 1,250 \text{株}$  です。したがって、権利行使に伴う新株発行部分と自己株式処分部分の対価はそれぞれ次のように計算できます。自己株式の処分からは処分差益が生るため、そのまま自己株式処分差益勘定で処理します。

新株発行部分： $955,000 \times 750 \text{株} \div 1,250 \text{株} = 573,000$

→ 資本金組入額： $573,000 \div 2 = 286,500$

自己株式処分部分： $955,000 \times 500 \text{株} \div 1,250 \text{株} = 382,000$

→ 自己株式処分差益： $382,000 - \text{帳簿価格 } 750 \times 500 \text{株} = 7,000$